




令和6年度 学校説明会

中野区立桃園第二小学校
令和6年4月12日（金）





学校説明会

- ・ 校長挨拶、教職員紹介、学校経営方針
 - ・ 今年度の主な行事予定
 - ・ 学力向上のための取組
 - ・ 生活指導上の取組
 - ・ 特別支援教育にかかわる取組
- 



今年度の学校経営方針について



目指す学校像

～未来社会・地域を担う子を育てるために～

- 子どもたちが、夢や希望をもって、自ら考え、チャレンジできる学校
- 自分も相手も大事にする学校
- 地域とともに歩み、地域を愛する学校

本校の教育目標

- 考える子（知）
- 心豊かな子（徳）
- 元気な子（体）

知・徳・体のバランスとれた
児童の育成

学校経営方針の4つの柱

- 1 主体的な学びで確かな学力（自ら学ぶ力）
- 2 生命尊重とともに豊かな人間性・社会性
- 3 心の安定と健康な体づくり
- 4 地域に開かれた教育活動

学校経営方針を具現化するための主な取組

考える子

その1 確かな学力を身に付けるために

- 基礎的基本的な学力の定着
- 国語科を中心に主体的・対話的な学びの授業研究・授業改善
- 自ら学ぶ力を育てる探求学習の取組
- 地域人材・施設を活用した学習（地域のことを考える学習）

学校経営方針を具現化するための主な取組

その2 生命尊重とともに豊かな人間性・社会性を育むために

心豊かな子

○ 相手意識・相手への思いやりを高める

- ・「あいさつ・返事・後始末」、「あつまり」～相手のために、みんなのために～
- ・いじめ防止に向けた取組 ～いじめを許さない～ 未然防止・早期発見・早期解決

○ 自己肯定感を高める道徳授業を推進

- ・重点項目：「生命尊重」「個性の伸長」

○ 人とのかかわりや感動を大切にした体験活動の充実

- ・いろいろな立場の人との交流（相手の立場になって、考え、行動できる）
- ・文化・芸術に触れる機会、アスリートとの交流（本物の触れる、夢や希望をもつ）





学校経営方針を具現化するための主な取組

その3 子どもの心の安定と健康な体づくりを図るために・・・

元気な子

○ 子どもの心理的安定感を大切にする

- ・毎日の子どもへの声かけ(よさを見付け、ほめる)、
子どもの話を「聴く・受け止める」
- ・校内でのいろいろな相談窓口
スクールカウンセラー(都・区)、心の教室相談員
- ・スクールソーシャルワーカーなど関係機関との連携
(登校渋りのお子さんのために)

学校経営方針を具現化するための主な取組


その4 地域に開かれた教育活動の推進

地域とともに
歩む

- 保護者・地域への情報発信・公開・学校評価
 - ・学校だより、学校ホームページ、門外掲示板（日々の取組の様子を発信）
 - ・土曜授業など学校公開、運動会、学芸会
 - ・学校評価（アンケートをもとに）での成果と課題
- 地域の教育力の活用「教育活動への参画」
 - ・授業のゲストティーチャー、学習補助、子どもたちの安全見守り、
 - ・校内美化、植物栽培、図書ボランティア
- 地域の行事・子どもの健全育成の取組との連携
 - ・地域のお祭り、地区運動会、ふれあいコンサート等々



今年度の中野区の主な取組について

- ・中野区統一したデジタルドリル「ミライシード」の導入
 - ・子どもの意見を反映させた教育活動、
文化芸術体験事業の予算化
- 

お願い

- SumaMachi (スマチ) を利用した欠席連絡
- 夜間、休日の電話対応について
平日7時30分～18時30分以外の時間帯は、
留守番電話または施設管理員による受信

不審者侵入防止


- 正門は、児童の登下校時間帯以外は施錠。
- 校舎へ入るドア（昇降口や通用口）は、基本的に施錠。
- 児童が校庭を使用する時間帯のみ開錠
- 来校されて学校内に入る場合は、通用口でインターホンを使用して氏名・在籍学級、用件を述べてください。
- 通用口から校舎に入られましたら、受付名簿に氏名・来校時刻、用件を記入してください。



今年度の主な行事予定

学校公開・運動会・学芸会について

- 学校公開
 - ・5、6、11、2月土曜日の1～3校時を公開
 - ・9、3月の保護者会の日には4、5校時を公開
- 運動会 5月25日(土)
- 学芸会 12月14日(土) ※保護者鑑賞日



学力向上の取組

基礎的・基本的な知識・技能の定着

- ・めあてとまとめの明確化→「わかる」「できる」に焦点化した授業
- ・朝の始業前の「学びタイム」
- ・算数少人数指導の全学年での実施
- ・年2回の家庭学習旬間

子どもと共に造る授業をめざして



なんでだろう？

子どもの疑問が
めあてになる授業。

そうか！
こういうことだったのか！

子どもの気づきが
まとめになる授業。



わたしは、こう思うよ。

こういう考えもあるよ。



互いに考えを伝え合える授業。

互いに関わり合い、 自らの読みを深める児童の育成をめざして

本文をじっくり読む



考えを伝え合う

自分の考えをまとめる



探求的な学習への取組

- ・自ら課題を設定
情報を収集・整理・分析
まとめ・表現



これらの力を育む

1・2年:生活科の授業において

3年以上、総合的な学習の時間において

3年:地域、中野区

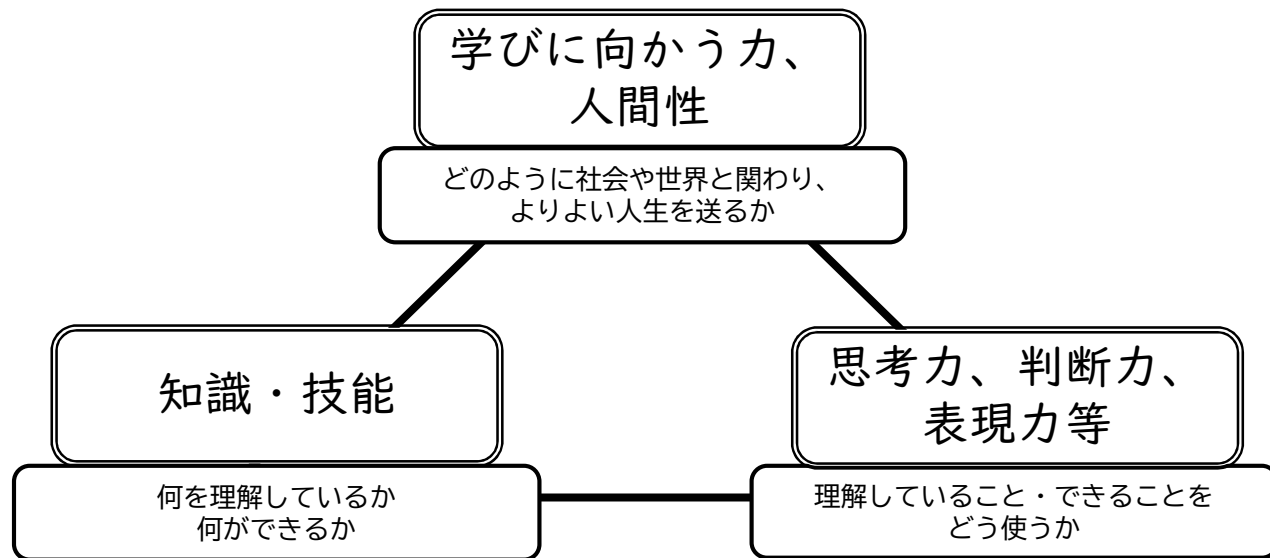
4年:環境、福祉

5年:環境、福祉

6年:世界、人権



学習状況の評価について



評価規準と 評価基準

例) 6 学年国語 知識・技能

評価規準
<p>これまでの学習した漢字を用いて文や文章の中で使っている。</p>



評価基準	
<p>学習した漢字を常に使ってノートや作文を書いている。小テスト、ワークテストの正答率が95%を超えている。</p>	<p>十分満足できる状態</p>
<p>学習した漢字を使ってノートや作文を書いている。小テスト、ワークテストの正答率が70%を超えている。</p>	<p>おおむね満足できる状態</p>
<p>学習した漢字を使わないでノートや作文を書いている。小テスト、ワークテストの正答率が70%未満である。</p>	<p>努力を要する状態</p>

例) 4 学年算数 思考・判断・表現

評価規準
<p>数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、少数のかけ算の計算の仕方を考えている。</p>



評価基準	
<p>既習事項を生かして少数のかけ算の計算の仕方について考え、自分の考えを発表するとともに、友達のことを聞き、よりよい計算の仕方を導き出している。</p>	<p>十分満足できる状態</p>
<p>既習事項を生かして少数のかけ算の計算の仕方について考え、自分の考えをノートに書いている。</p>	<p>おおむね満足できる状態</p>
<p>友達のことを聞いたり、教師の助言を受けたりして、少数のかけ算の計算の仕方について考えている。</p>	<p>努力を要する状態</p>



生活指導上の取組

生活指導上の取組について

- 生活指導を行う目的は、
 - 子どもたちが安心して安全に生活する中で、自分の力を発揮できるようにする。
 - 自分の力を発揮できて、子どもたちは満足感、達成感をもち、自信をもち、友達に思いやりをもてるようになる。

よいこのやくそく

- みんなで、気持ちよく生活するためのやくそく
- 毎年変わらないことで、子どもたちの安心につなげる。



令和5年度

中野区立桃園第二小学校

よいこのやくそく

みんなが きもちよく すごすために

学校では、多くの人がいっしょに生活します。学校には、6年間通います。みんなが、安心して、安全に、楽しく生活するためのやくそくが、「よいこのやくそく」です。6年間、同じように生活できるよう、どのクラスも同じやくそくになっています。よく考えて、すずんで行動しましょう

基本にする大切なこと

あいさつ・返事・あとしまつ

- 先生や職員の方、地域の方々から自分からあいさつをします。
- 名前を呼ばれたら返事をします。
- 靴、傘、学習用具、遊びの道具はしまうところに美しくしまします。靴のかかとをそろえます。傘をたばねてとめます。

安心・安全・思いやり

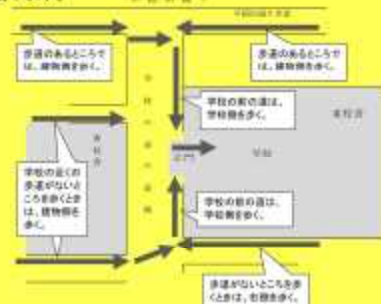
- 教室やろうかでは、いつでも、静かに、学びます。走りません。授業の時間中は、声を出さずに、ろうかの右側を歩きます。
- いじめは絶対にしません。体の暴力、言葉の暴力は絶対にしません。

みんなでいっしょに生活するためのやくそく

①健康で安全に生活するために

○安全な登校と下校

- ・近所の友達といっしょに、交通ルールと通学路を守って登下校します。



- ・8時00分から8時15分の間に登校し、8時20分までには着席します。
- ・帽子をかぶり、ランドセルに荷物を入れて歩いて登校します。
- ・忘れ物をして家にとりに帰ることはしません。
- ・遅刻や早退のときは、必ず家の人と登下校します。
- ・防犯ブザーは、登下校中は身に付け、月に1回（月末）は、家で点検をします。

あいさつ・返事・後始末・ことばづかい

- 多くの人から愛される人に成長できるよう
 - 相手を見て、自分から元気にあいさつします。
 - 名前を呼ばれたら「はい」と返事をします。指導や助言を受けて「はい」と返事できる子に育てたいと考えます。
 - 先生、職員、お客様などに対して丁寧な言葉遣いをします。友達に対してもいつも思いやりをもった言葉遣いをします。

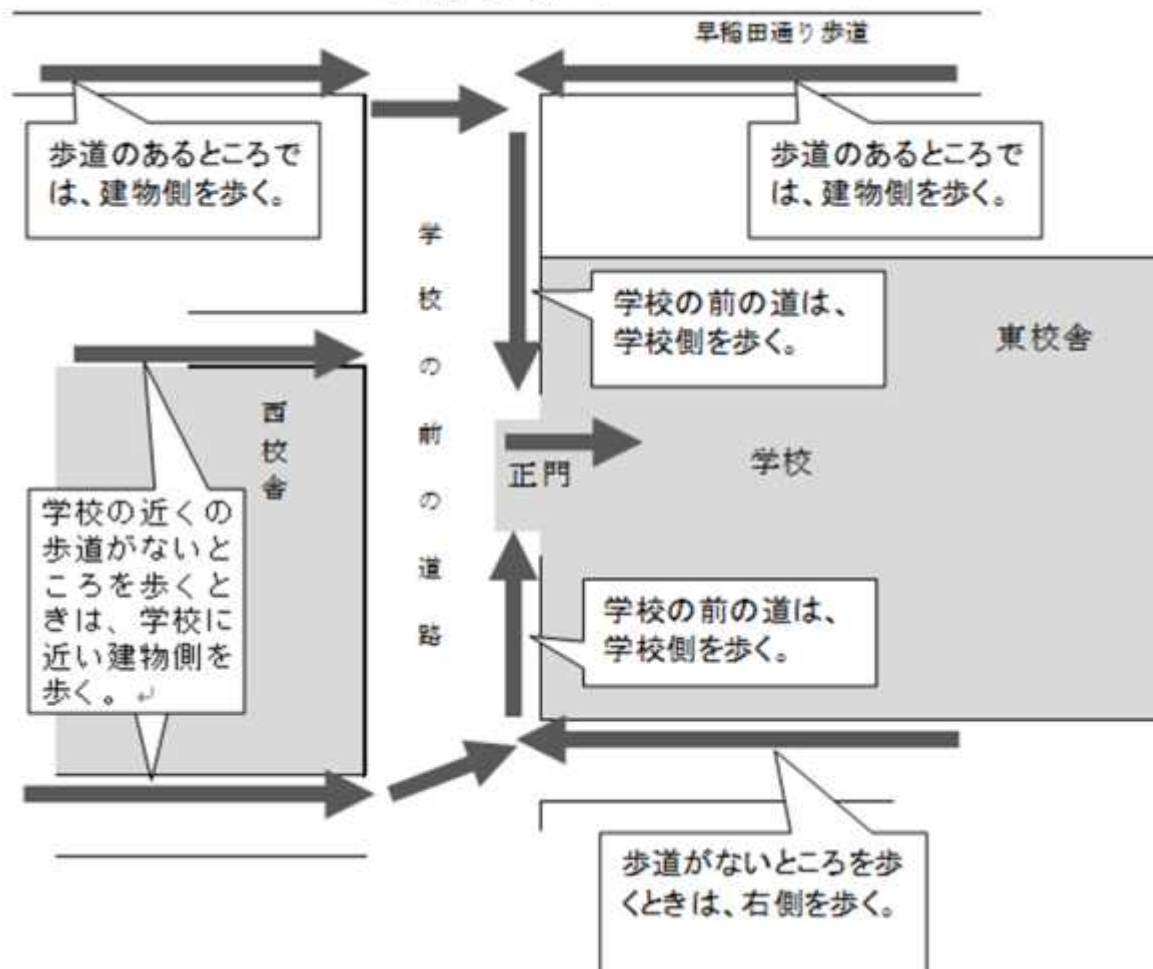
いじめ防止・不登校防止

- いじめ防止…未然防止、早期発見・早期対応、組織的対応
 - 聞き取りや事実確認を、その日のうちに即座に、複数教員で行う。
 - いじめ防止アンケートを隔月で実施
 - いじめ防止対策委員会を毎月実施。
- 不登校、登校しぶりへの早期対応
 - 欠席1日目の電話連絡
 - 2日目の本人との対話
 - 3日目の家庭訪問
 - 保健室、専科教員、支援員、スクールカウンセラー等、全教職員で対応

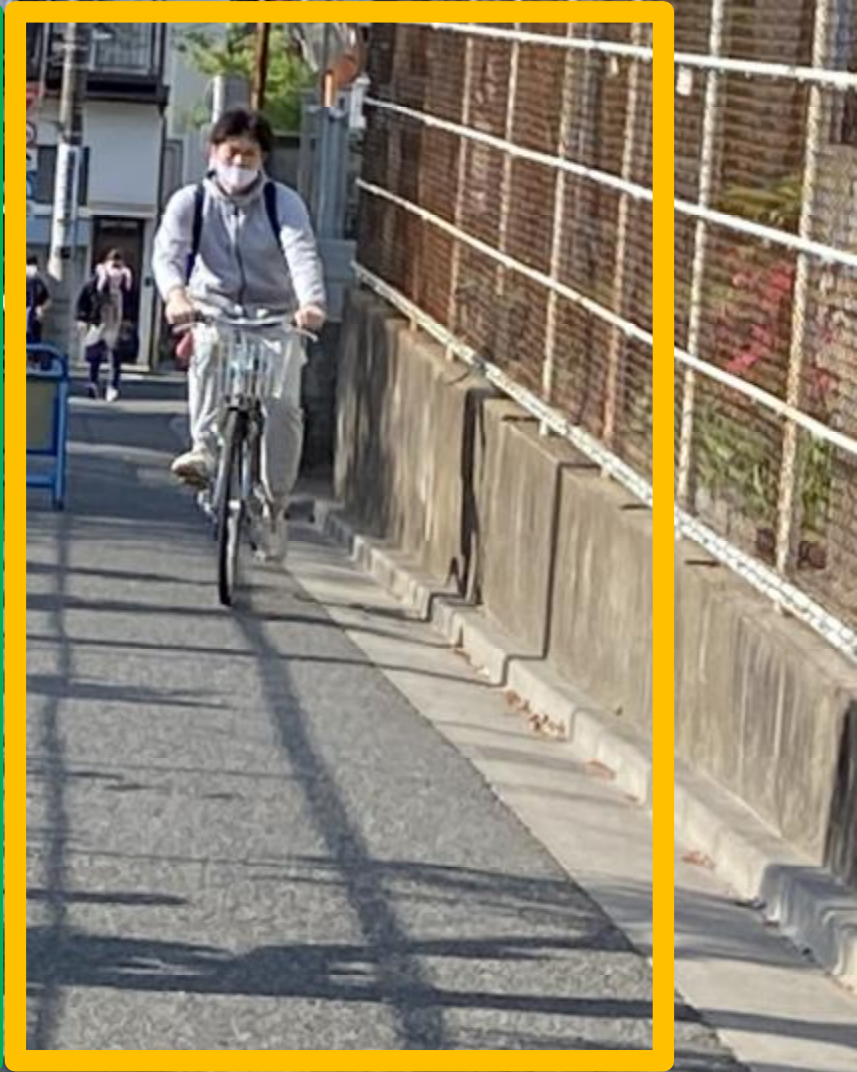
登下校の安全

- 登校時刻… 8時5分～15分
- 遅刻や早退の時…必ず保護者が付き添ってください。
- 学校に忘れ物をした時…
 - 保護者と一緒に来校してください。
 - 無理な時は、安全に気を付けて夕方のチャイムまでに来るようにしてください。
 - 教室へは、学校の職員と一緒に行ってください。

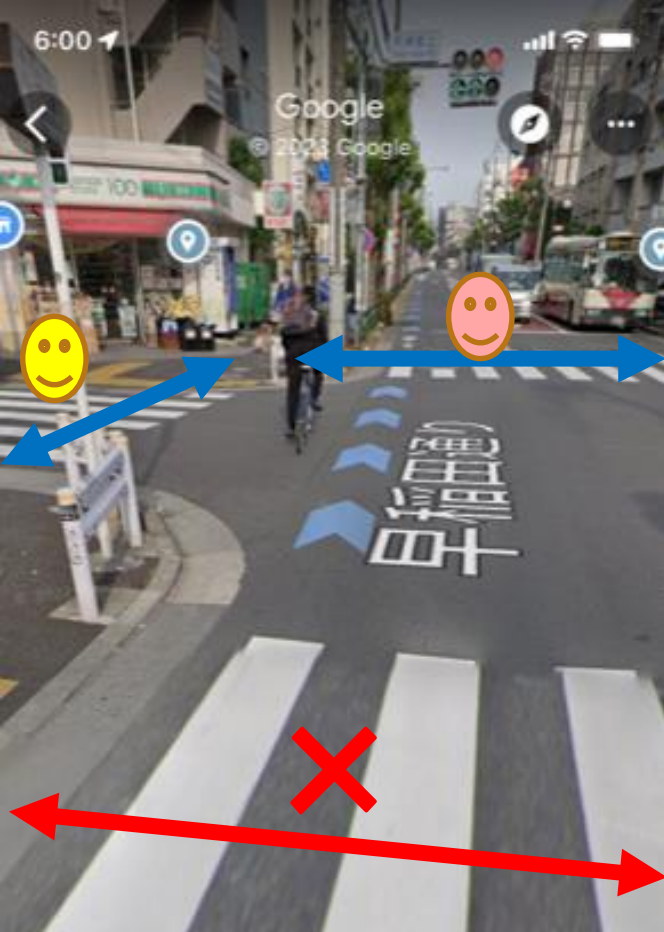
交通安全














青い⇄のところをわたる。赤い⇄のところはわたらない。



こちらの方に住んでいる人は、
ゆうびんきょくのところの
横断歩道を渡ります。



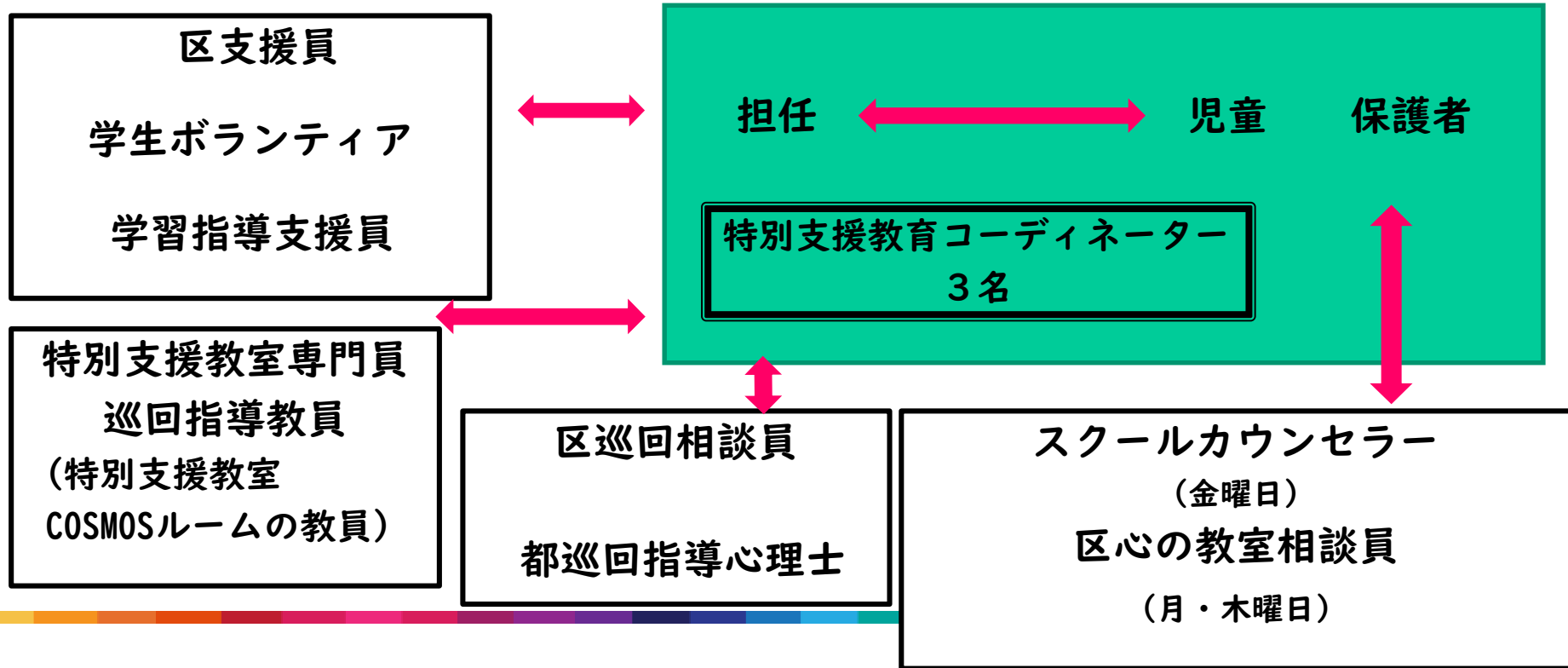
特別支援教育の取組
特別支援教室拠点校（COSMOS）
の紹介



特別支援教育

- 子ども一人一人の個性に応じ、
「ここを助けてあげればもっと安心して過ごせるようになる」というニーズを把握して支援することにより、
子どもたちが自分の能力や可能性を最大限に発揮できるようにする教育活動

特別支援教育 校内体制






特別支援教育

- 教育のユニバーサルデザイン
 - 授業のユニバーサルデザイン
 - 環境のユニバーサルデザイン
 - 人的環境のユニバーサルデザイン





特別支援教室

- 個別に指導を受けたり、練習したりすることで、友達との付き合い方、学習の仕方などについて、子どもたちが安心できるようになる。
- 

特別支援教室

- 時間割
- 月・水・木曜日 1～6時間目
- 巡回指導教員
- とうのやま学級教諭 2名
- 特別支援教室専門員 1名
- 利用教室
- 特別支援教室 コスモスルーム

特別支援教育の充実のために

- 児童一人一人の生活上や学習上の困難さを改善するために、ご家庭と連携して、継続的な指導を行います。
- 保護者の皆様にも特別支援教育について理解を深めていただき、教職員と連携してそれぞれの児童に合った支援や指導を行っていききたいと考えています。